

# 利益相反（Conflict of Interests）の開示について

会員・非会員を問わず筆頭筆者および共同発表者全員が、発表内容に関連する企業などについて、開示すべき利害関係（interest）の有無についてお答えください（共催セミナーの方も同様です）。

有無の判断に関する基準は日本高血圧学会利益相反マネジメント指針・細則をご覧ください。

開示が必要なものは過去3年間分（前年から1年ごとに過去3年間分）です。

各々の開示すべき事項と金額は以下の通りです。

- ① 企業等の役員、顧問職、社員：各企業からの報酬額が年間100万円以上。
- ② 株による利益：各企業年間100万円以上、当該全エクイティの5%以上所有。
- ③ 特許権使用料：各々年間100万円以上。
- ④ 講演料：各企業年間50万円以上。
- ⑤ 原稿料：各企業年間50万円以上。
- ⑥ 受託研究、共同研究：各企業年間500万円以上。
- ⑦ 奨学寄付金：各企業年間100万円以上。
- ⑧ 企業等が提供する寄付講座の所属。
- ⑨ 研究とは直接関係ない旅行、贈答品など：各企業年間5万円以上。

開示すべきCOIが有る場合、開示すべき事項の番号と企業などの名称を開示のスライドに記載してください。

なお、登録されたCOI情報は発表時にスライドまたはポスターにて開示されることで完結しますが、演題募集締切日から2年間、日本高血圧学会理事長の監督下に法人の事務所で厳重に保管され、その後廃棄されます。

取り扱いの詳細は日本高血圧学会利益相反マネジメント指針・細則に記載しています。

## ■口演発表例

様式1-A 学術集会口頭発表時申告すべきCOI状態がない時

<b>COI 開示</b> 発表者名：高血圧 太郎、高血圧 一郎、高血圧 花子、◎高血圧 二郎（◎代表者）
演題発表に関連し、発表者らに開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

様式1-B 学術集会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時

<b>COI 開示</b> 発表者名：高血圧 太郎、高血圧 一郎、高血圧 花子、◎高血圧 二郎（◎代表者）
演題発表内容に関連し、発表者らが開示すべきCOI関係にある企業などとして ①顧問： ②株保有・利益： ③特許使用料： ④講演料： ⑤原稿料： ⑥受託研究・共同研究費： ⑦奨学寄付金： ⑧寄附講座所属： ⑨贈答品などの報酬：
（記載例） 発表者全員、過去3年間一括して ④講演料：○○製薬、△△製薬 ⑤原稿料：○○製薬 ⑦奨学寄付金：××製薬、○△製薬
↑ 開示すべき内容が過去3年間にある項目のみ記載

## ■ポスター発表例

様式1-C 学術集会ポスター掲示の最後にCOI状態を開示する

演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。
あるいは
発表者全員のCOI開示 演題発表内容に関連し、発表者らが開示すべきCOI関係にある企業などとして ①顧問： ②株保有・利益： ③特許使用料： ④講演料： ⑤原稿料： ⑥受託研究・共同研究費： ⑦奨学寄付金： ⑧寄附講座所属： ⑨贈答品などの報酬：
（記載例） 発表者全員、過去3年間一括して ④講演料：○○製薬、△△製薬 ⑤原稿料：○○製薬 ⑦奨学寄付金：××製薬、○△製薬
↑ 開示すべき内容が過去3年間にある項目のみ記載